

♡ことばの力 ♡からだの力 ♡こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 平成27年9月1日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



親子で楽しかった！「夏祭り」

8月22日(土)、城南夏祭りを開催しました。



久しぶりに子どもたちと会えて、先生たちも大喜びです。涼しそうな浴衣姿に思わず「うわあ、かわいい！」の連発でした。

さて、保護者会の役員の皆さまを中心に、委員の皆さまも加わって、4月から時間をかけて準備をしてくださいました。本当にありがとうございました。



無事に終えて、誰よりもほっとされているのは、保護者会役員の皆さま方です。西村会長さんは、「夏祭りの準備は大変だけど、子どもたちのあの笑顔を見ると、やっぱりやってよかったなあと思います。」としみじみ話されていました。

子どもたちの笑顔があり、そのまわりには温かく見守る大人たちがいる。「夏祭り」で、改めて大人たちの結束力を実感できました。お父さん方が大勢集まってくださり、準備もとてもスムーズでした。



カッコいい！
お父さんたち
すごい！



次の週、夏季保育に登園された保護者の方から、「夏祭りありがとうございました。」と丁寧なごあいさつがありました。「皆さまのおかげで、わが子は楽しい時間を過ごすことができました。」と。感謝とねぎらいのことばを忘れずに届けられるその姿から、とても大切なことを教えていただきました。

こちらこそ、本当にありがとうございました。

小学校につながる「学びの基礎」って？

子どもは、家庭と園との連続性の中でより確かに育ちます。

園の方針として、子どもの育ちについて「大丈夫ですよ」と無責任なことは言いません。園生活の中で感じる気になることや乗り越えさせたいことなどがあれば、きちんとお伝えしたいと考えています。



小学校勤務時で一番気になっていたことは、「幼稚園ではずっと大丈夫と言われていたのに、小学校に入ったとたん困っている。」ということでした。

本来、子どもの生活も学びも連続していくものです。小学校へ行って急に通用しなくなるのでしょうか。では、幼稚園教育では何を大切にしなければならないのでしょうか。文字や計算を早期に教えることではないことは、言うまでもありません。

そのひとつが「人とかかわる力」です。目の前の子どもたちが社会人になるころは、ロボット開発がより進む中、人間にしかできないこと、例えば、様々な人々とかかわりながら、協同して新たなものを創りだしていく力が求められるようになります。

そのために、人とかかわる力が必要になるのです。例えば、3歳児は初めての社会生活(園)を経験します。いろいろな友だちがいる中、安定した気持ちで過ごすことができる力、自分の気持ちを伝える力、とまどいや葛藤を超えて協同して遊ぶ力などです。

これらの力は、大人が言い聞かせて短期間に育つ力ではなく、子ども自身が経験を積み重ねて獲得していく力だということです。

幼児期に必要な経験を、どれだけ豊かに積み重ねるか、それが、小学校教育につながる学びの基礎ではないかと考えています。



二学期も、教職員一同、子どもたちに全力で向き合っています。
どうぞよろしく願いいたします。